

盤石不退轉の信念
蓮法難の前夜

高橋 佳豊稿

【其の三】

龍口私刑

高橋 佳豊稿

参上いたしてございます

る

中連は北條義時の弟房

の子で、北條一門の中でも

聰明の聞え高い人物である

實は日連の事につきまし

て

「うむ」

宣時は、賴綱が何の爲に

來訪したか、ちよつと解せ

ないつて、賴綱の顔を見た

あるので、即ち日連を佐渡に

送るのであつた。

佐渡の領主である所から、

やうなもので「使」とは「執

行係」とでも云ふ意味の役

である、即ち日連を佐渡に

送ることであった。

が「預り」とは「係長」の

責任の係長となり、賴

綱が護送執行の役を命ぜら

れたのである。

佐渡は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「うむ」

よして日連は、諸宗を惡

意し、愚民を煽動し、あま

つさへ出家の身を以て政道

を非議し、上を恐れざる不

敵のしれ、二葉の中に姑

らずんば斧を用ふるの變え

いほどの多人數と必要以

て、彼を召捕つて龍の口へ引立

て、彼は後年もびから、かう

と見えたが、早くもその意

味を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。

宣時は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。

宣時は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。

宣時は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。

宣時は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。

宣時は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。

宣時は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。

宣時は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。

宣時は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。

宣時は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。

宣時は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。

宣時は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。

宣時は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。

宣時は、賴綱の願をまじ

めに、いづれも途中に於て

身を悟つた。

それへ處分いたして御座

ります」

「曾て承久の亂のみぎり、

上皇方の謀に與つた公家四

人、鎌倉へ流す御所

存でござるとかとお訊ねいた

たのである。